

## 第5回勉強会『企画づくりのお悩み解決』

～企画のキホンを学び、企画ができちゃう講座～

第5回目となる今回は、第3回に講師でお越しいただいた「福岡テンジン大学」の代表岩永真一氏を再びお迎えしました。参加者は実際に企画書を書きながら、「企画」の作り方を実践的に学び、ノウハウを伝授してもらいました。勉強会のあとは、交流会を開催し、参加者同士の交流を深めました。

## 【開催概要】

■日時：2019.9.18（水）

■場所：大野城市商工会議所

■当日のプログラム

【第1部：勉強会】 18：30～20：30

◇趣旨説明

◇岩永氏によるレクチャー

◇企画レッスン

【第2部：交流会】 20：30～21：30

■講師：岩永 真一氏

福岡テンジン大学(学長)／グリーンバード北九州(代表)／WeLove 天神協議会コミュニティWG(リーダー)／北九州市立大学(特別講師)／九州産業大学(非常勤講師)／夜明の里カメミツ(社外社員)／スペースRデザイン(コミュニケーション・デザイン室)

■司会：吉田まりえ氏

九州の暮らし創造研究所 代表



## 企画のキホン

岩永氏によるレクチャーではまず最初に、福岡テンジン大学での取り組みについて紹介がありました。福岡テンジン大学では、「自分の想い × 社会のこと」を結びつけて言語化することを大事にしています。延べ約430回の授業を添削してきたご経験から、何かをする時の3つの迷子「①ゴールが分からない、②行きかたが分からない、③今どこにいるか分からない」を解決するには、きちんとゴールを設定し、言語化していくことが企画のキホンであることを学びました。

また、「集客はほぼタイトルで決まる！」という岩永さんの言葉が印象的でした。ターゲットを具体化し、参加者目線で企画を組み立てることが大事だそうです。いい企画なのに人が集まらないという悩みに対するコツを教えてくださいました。

## 実際に企画を立ててみる！

福岡テンジン大学でも授業の組み立ての際に用いられている、「企画できちゃうシート」を使い、実際に各自で企画書の作成演習を行いました。このシートに沿って企画を考えると、5W1H（だれが、いつ、どこで、なにを、なぜ、どのように）を明確にすることができ、企画の作り方を実践的に学ぶことができます。また、参加者の頭の中にある企画の種・アイデアが具体化される機会となり、企画書を作成したあとは、内容について参加者同士で議論し合い、企画のブラッシュアップを図りました。

## 岩永氏による即興企画レッスン

最後に全体で、企画内容の発表を行い、岩永氏からその場で添削をしていただきました。ほぼ完ぺきの出来という”子育てママをターゲットに職場の見学会を開催する”という企画案が生まれ、実際に運営する際の役割について踏み込んで今後の課題を整理していただきました。また、”スキルを持った方とスキルを身に付けたい人をマッチングするワークショップ”の企画案に対しては、メディアと組んだり、シリーズ化すると面白いのでは!?という意見をいただきました。



▲ 全体での意見交換の様子

## 事後アンケートの意見

【印象に残った言葉、内容】

- 「なぜやりたいのか？」が核
- 集客はタイトル次第
- 言語化＝自分の想いと社会性
- 言語化、5w1hを明確に
- 集客はほぼタイトルで決まる 等

【新たに生まれた疑問】

- 横のつながりができそうです
- タイトルが大切だという事がわかった
- スポットをしぼる必要もあるため不安にも感じました
- 発信力 等